



記者発表資料



令和8年1月16日  
総合政策局危機管理部  
防災対策課  
電話 245-5150

## 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と

「一時滞在施設への帰宅困難者の受入れ及び防災関係機関の職員への休憩場所の提供に関する協定」  
を締結しました

千葉市では、災害時に備え、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と「一時滞在施設への帰宅困難者の受入れ及び防災関係機関の職員への休憩場所の提供に関する協定」を締結しましたので、お知らせします。

### 1 趣旨

災害が発生し、公共交通機関が広範囲に運行を停止して、当分の間、復旧の見通しがない場合に帰宅することが困難な者に対して、一時的に身の安全を確保できる場所が必要となることや、市の災害応急対策業務にあたり、他自治体等からの応援職員の待機場所を確保する必要があることから、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が所有する施設の提供等の協力を得ることで、本市の災害応急対策の強化を図るものです。

### 2 協定締結日

令和8年1月16日（金）

※協定締結式は実施しません。

### 3 指定施設概要

量子科学技術研究開発機構千葉地区 研修棟及び研究交流施設

所在地 千葉市稲毛区穴川4-9-1

### 4 協力事項

#### (1) 帰宅困難者に対する指定施設の提供及び以下の支援

ア 指定施設を一時滞在施設として開設し、運営する。

イ トイレ、水道水及び冷暖房を提供する。

ウ 市が用意する飲料水、食料、毛布等の備蓄品を配布する。

エ トイレやごみの処理などの施設の衛生管理を行う。

オ 市から提供される、道路、鉄道の運行状況等の情報を帰宅困難者に対し伝達する。

#### (2) 防災関係機関の職員のための休憩場所の提供

<参考>国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構について

量子科学技術研究開発機構（QST）は2016年に発足した国立研究開発法人です。QSTは量子科学技術を軸とした新産業創出から医学・医療研究、エネルギー開発まで幅広い研究開発を展開しており、そのために世界最高水準の量子ビーム施設、研究病院、フュージョンエネルギー施設など多彩な大型施設や装置を有し、これらを大学や他の研究機関、産業界にも広く提供しています。こうした量子科学技術に関わる研究開発を通じて新たな価値を創出することで、QSTは経済・社会・環境が調和した持続可能な未来社会の実現への貢献に取り組んでいます。



○ホームページ

【URL】<https://www.qst.go.jp/>

